

平成23年度
デートDV実態調査
報告書

平成24年1月

山 形 県

は し が き

県では、平成23年3月に策定した「山形県DV被害者支援基本計画」に基づき、“男女が互いの人権を尊重する、暴力のない社会の実現”をめざして取組みを推進しているところです。

このたび、DV事案が配偶者間だけでなく若年層においても起きていることについて、その意識等の実態を明らかにするため、県内の満20歳、21歳の男女3,000人を対象に、平成23年9月に「平成23年度デートDV実態調査」を実施し、報告書を取りまとめました。

今回の調査結果については、今後のデートDV防止に向けた若年層への適切な対応や支援に十分活用し、県民の視点に立った行政運営の推進に役立ててまいりたいと考えております。

結びに、調査の実施にご協力をいただきました県民の皆様に、厚くお礼を申し上げますとともに、今後とも、DVを許さない社会づくりの推進に向けて、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年1月

山形県子育て推進部長 鏡 京子

目次

第1部 調査の概要	1
I 調査目的	1
II 調査項目	1
III 調査設計	1
IV 回収結果	1
V 報告書の見方	2
第2部 調査結果の概要	3
I 回答者の属性	3
1 性別	3
2 生活地域（小学校～高等学校）	3
3 婚姻歴	4
4 職業	4
5 交際経験の有無	5
II 調査結果のあらまし	6
1 『DV／デートDV』の認知度と学習機会	6
2 恋人などからの行為における暴力としての認識と暴力の許容度	6
3 デートDVの実態・相談状況	6
4 デートDVの背景	7
5 デートDV防止のために	7
III 『DV／デートDV』の認知度と学習機会	8
1 『DV（ドメスティックバイオレンス）』の認知度	8
2 『デートDV』の認知度	9
3 『デートDV』に関する学習機会	11
IV 恋人などからの行為における暴力としての認識と暴力の許容度	12
1 恋人などからの行為における暴力としての認識	12
2 暴力の許容度	16
V デートDVの実態・相談状況	18
1 デートDVの実態	18
2 友達などのデートDVを見聞きした際の対応	20
3 デートDVを受けた際の相談状況	22
(1) 相談の有無	22
(2) 相談相手	23
(3) 相談後の心情の変化	24
(4) 相談しなかった理由	25
4 デートDVを初めて受けた時期	27
5 デートDVを行った理由	29
6 デートDVを初めて行った時期	31
VI デートDVの背景	33
1 性別による固定的な役割分担意識	33
2 家庭環境	36

Ⅶ	デートDV防止のために	38
1	相談窓口の認知度	38
2	デートDV防止のために必要な取組み	40
Ⅷ	自由記述	43
1	認知度・理解とその向上について	44
2	教育について	47
3	問題提起と改善策の提案	50
4	経験による意見	51
5	相談窓口について	53
6	改善への願いについて	54
7	周囲のサポート体制について	54
8	理解し難い問題	55
9	広報活動について	56
10	家庭環境について	57
11	暴力の基準の難しさについて	57
12	精神的な暴力について	58
13	このアンケートについて	59
14	その他	59
	資料	61
	調査票	61

第1部 調査の概要

第1部 調査の概要

I 調査目的

本調査は、若者層においてもDV事案が起きているものの、意識等の実態が明らかにされていないことから、デートDVに対する実態を把握・分析し、若年層に対する適切な支援の方法等を検討するための資料とすることを目的に実施した。

II 調査項目

- (1) 『DV／デートDV』の認知度と学習機会
- (2) 恋人などからの行為における暴力としての認識と暴力の許容度
- (3) デートDVの実態・相談状況
- (4) デートDVの背景
- (5) デートDV防止のために

III 調査設計

調査対象	山形県内に在住する満20歳、21歳の男女個人
調査対象者	上記の調査対象者から、無作為抽出を行った。 ※各地域の標本数等抽出の詳細に関しては、調査対象が限定的であり、内容が個人情報保護に最大限配慮すべき事柄であるため、掲載しないこととする
調査方法	郵送配付－郵送回収
調査期間	平成23年9月14日～9月28日（10月26日までの返送分を含む）
企画実施	山形県子育て推進部青少年・男女共同参画課
集計・分析	株式会社サーベイリサーチセンター東北事務所

IV 回収結果

対象者数	回収数	有効回収数	有効回収率
3,000人	480人	476人	15.9%

V 報告書の見方

- ◆ 調査数 (n=Number of cases) とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ◆ 回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。
- ◆ 回答者が2つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、全ての選択肢の比率を合計すると100%を超える。
- ◆ 調査票における設問及び選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。